

技術・家庭科（技術分野）調査資料 1-1

項目	書名 新編 新しい技術・家庭 技術分野 2 東 書
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、1章に基礎的・基本的な知識を取り上げ、「基礎技能」のページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、「調べてみよう」「生活に生かそう」を設けるとともに、写真や図で説明するなどの工夫が見られる。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、生活の中で用いられている技術などを取り上げ、工夫・創造することができる学習課題や実習例にしている。</p>
特色 内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」を設けてあり、工具の使用方法や作業手順などの基礎的な技能を「基礎技能」のページにまとめて掲載し、実習の流れや手順が、必要なときに確認ができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○習得した知識及び技術を活用し、生活を営む上で生じる課題を解決する能力と態度を育てるために、「ものづくりの手順」という欄を設け、学習の進め方や留意事項が説明されていて、生徒が見通しを立てて問題解決的な学習を進められるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○自ら課題を見だし解決を図る問題解決的な学習に取り組ませる及び生活に関心をもたせ、学習の成果を積極的に生活に生かすことができるようにするために、「調べてみよう」「考えてみよう」を設けている。また、実習例の手順がしっかりと記述してあり、参考にしやすく、主体的に学習に取り組みやすくなっている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫> ○実践的・体験的な学習活動を行うために、2章に設計・製作など多くの実習例を取り上げ、写真や図などを用いて、基礎的な技能が習得できるよう工夫されている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫> ○技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育成するために、「評価・活用してみよう」のページを設け、多面的な視点から考えられるように工夫している。</p>
資料	<p>○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、写真や図、イラストなどの資料に工夫が見られる。特に、各ページの下に「ひとくち」が明記されていたり、イラストのキャラクターの発言により、課題のヒントが出たり等、関心をもたせるような工夫がある。</p> <p>○資料と本文の関係及び資料の配置には、大きめの紙面を使い、資料などの写真を大きく載せ、学習や作業、実習が進めやすい工夫があり、多様な指導計画に対応できる。</p>
表記・表現	<p>○技術分野の各内容を1編、2編、3編、4編とし、爪見出しで編ごとに色分けされている。書体はUDフォントで統一し、タイトルや見出しはゴシック体でわかりやすい工夫が見られる。</p> <p>○学習項目ごとに目標が明記され、生徒の主体的な学習がしやすくなっている。16種類のマークを用いて、効果的な学習に取り組む工夫が見られる。</p>
総括	<p>○学習内容ごとに「目標」から「まとめよう」までがひとまとまりとして構成されている。</p> <p>○指導内容の最後に「学習のまとめ」を設け、「学習をふり返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」で構成されている。</p> <p>○安全面に関する内容は、作業場面に関連づけて示されている。</p>

書名		技術・家庭（技術分野）	9 開隆堂
項目			
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、学習の目標を明確に示し、学習をふり返る場面を設けるなど、学習しやすい工夫が見られる。</p> <p>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、「豆知識」「生活に生かそう」を設けるとともに、写真や図で説明するなどの工夫が見られる。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、生活の中で用いられている技術などを取り上げ、課題解決を図る力を身に付けさせるための学習課題や実習例にしている。</p>		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、身に付けさせたい「学習の目標」や小課題を設けるなどの工夫が見られる。また、豊富な図やマーク、写真などが用いられていて、実習の流れや手順が、必要なときに確認できるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○習得した知識及び技術を活用し、生活を営む上で生じる課題を解決する能力と態度を育てるために、「参考」や「探求」等のマークにより、考えたりまとめたりする工夫があり、実習例も示され、生徒が見通しを立てて問題解決的な学習を進められるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○自ら課題を見だし解決を図る問題解決的な学習に取り組ませる及び生活に関心をもたせ、学習の成果を積極的に生活に生かすことができるようにするために、「調べてみよう」「考えてみよう」を設けている。また、「?」「発展」「豆知識」等のマークにより、生徒の興味・関心に応じた学習が進められるようになっている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○実践的・体験的な学習活動を行うために、基本となる実習から参考・応用的なものまで多くの実習例を紹介するとともに、写真や図、絵などを用いて分かりやすくなっている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育成するために、「探求」のページを設け、今まで学んだ、基礎的・基本的な知識や技能を活かし、生活の中に使われている技術を評価し活用するにはどうしたらよいのか考えさせている。</p>		
資 料	<p>○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、写真や図、イラストなどの資料に工夫が見られる。特に、「豆知識」や「発展」等で、課題を考えたり、学習を深め関心を持たせるような工夫が見られる。</p> <p>○資料と本文の関係及び資料の配置には、見開きで使う事を考えてあり、学習や作業、実習を進めやすい工夫が見られ、多様な指導計画や授業展開に対応できるようになっている。</p>		
表記・表現	<p>○技術分野の内容をA、B、C、Dとし、爪見出しで内容ごとに色分けされている。書体はUDフォントで統一し、タイトルや見出しはゴシック体で分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>○学習の目標が明記され、生徒の主体的な学習がしやすくなっている。14種類のマークを用いて、効果的な学習に取り組む工夫が見られる。</p>		
総 括	<p>○学習内容ごとに「学習の目標」から「ふり返り」までがひとまとまりとして構成されている。</p> <p>○指導内容の最後に「学習のまとめ」を設け、「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」「探求活動」で構成されている。</p> <p>○安全面に関する内容は、作業場面に関連づけて示されている。</p>		